

自分らしい生活を支えるために

看護小規模多機能型居宅介護天地

管理者 松浦 明美

看護小規模多機能型居宅介護（以下「看多機」という。）天地は、2016年4月にオープンしました。

まだまだ看多機は、他の介護保険サービスのように急激に増えていません。2015年10月時点で全国に257か所、市区町村147か所、都道府県46か所という現状です。

天地は、以前はデイサービス事業所として行っていました。私は介護支援専門員としても業務しており、医療ニーズの高い方や老老介護、1人暮らしの方が在宅を継続していくためにはサービスがどうしても足りない、どうしたらよいかと悩んでいた所に看多機に出会う事が出来ました。それからは猪突猛進してきました。

しかしまだまだ看多機のことを完全に理解したわけではありません。分からないことだらけで、市役所に何回通ったのかわかりません。

しかし自分の中でぶれなかったのは、「住みなれた地域で自分らしい在宅生活を送る」にはどうしたらよいか、を追及する気持でした。

だからこそ、通所、泊りのサービスと、所内介護、訪問看護を組み合わせる4つのサービスを一体的に受けることができる役割がある看多機だと確信しております。

あなたたちに出会えてよかったと言われる場所でありたい、地域にとって無くてならない

「第2の我が家」として存在したいと思います。高齢者の方が最後まで充実して快適な日々を送り、ご家族にとっても（頑張らない介護）をし、自分に時間もきちんととれるシステムの構築を目指したいと思います。

2018年9月に看多機が八王子にもう一つできました。強い連携をして看多機の役割を医療人、市民の皆様に理解して頂けるように、また質の高いケアを目指すために精進したいと思います。

「高齢者、ご家族のかたの自分らしい暮らしを支える」を合言葉に…。

最後に、開設当初より共に悩み共に同じ目標に向い“ケア”をしてきている職員がいたからこそ、4年目を迎えることができます。